

なばりんく

12・1月号



隠街道市で共同募金
希望くんと一緒に

まちびと探し

今月の
まちびとさん



名張おもちゃ病院代表
いえざと ときこ
家里 豊喜子さん(64)

壊れたおもちゃを修理するボランティアグループ『名張おもちゃ病院』の代表として活動している家里さん。同グループの活動以外にも、地域高齢者の居場所づくりとして取り組まれているふれあい・いきいきサロン『お茶サロン』(箕曲地域)の代表としても活動している。

同病院の立ち上げには、平成21年9月から11月にかけて三重県社会福祉協議会主催の『シニアリーダー養成講座』を受講したことがきっかけであったという。養成講座を受講中おもちゃ病院の取り組みに興味を持ち、色々と教えてもらったり実際に小学校で活動しているところを見学にいたりしているうちに、自分でもできると立ち上げを決心した。

養成講座終了後、家里さんの熱い思いに共感した垣中さんと『おもちゃ病院設立準備会』を立ち上げ、平成22年5月に名張市提案公募型事業「はじめの一步コース」で『おもちゃドクター養成講座』を実施、養成講座の修了生と共に同年12月に同院を立ち上げ現在に至っている。

おもちゃドクターとして壊れたおもちゃを子どもの目の前で直し、直ったおもちゃを見て喜んでくれる子どもの顔を見るのが最高に嬉しく、修理する側としての喜びになるという。活動を始めて約1年が経つが、まだまだ『おもちゃ病院』について知ってもらうことができていないのが現状。まずは、知ってもらうためにPRし、活動を続けていきたいという。おもちゃの修理を通じて子どもにも親にも『おもちゃをもっと大切にしたい!』と自然に思ってもらえるようになってもらいたいと笑顔で語ってくれた。

※名張おもちゃ病院の活動記事を2ページに掲載しています。

地域ピックアップ!

「桔梗が丘三番町高齢者いきいきサロン」ご紹介

70歳以上のひとり暮らしや高齢者夫婦、昼間一人になる地域の高齢者を対象に、毎月第1月曜日10時から三番町集会所で開かれているサロンです。民生委員児童委員を中心に婦人会や地域の有志が集い、おしゃべりや歌、作品づくりや子ども会との交流など季節を感じながら交流を深め、地域での生活をサポートしています。

「婦人会手作りの昼食もとても楽しみ!」とのこと。



10月3日のサロンでは12名の高齢者が集まり、バスタオルで簡単にできる防災頭巾をつくりました。避難先で使えるようフェイスタオル・軍手・ティッシュ・マスク・絆創膏などをバスタオルに入れて軽く縫い合わせます。持参の裁縫道具を使い、皆さんとても手際よくあっという間に完成!! 11月13日に開催される地域の防災

訓練への呼びかけには「迎えに行くから一緒に行こう」「この頭巾かぶって行ってね」といった声も。

平成16年度から続いているこのサロン、地域にとって大切な拠点となっています。



『名張おもちゃ病院』の活動紹介

壊れたおもちゃ直しま〜す

名張おもちゃ病院は、壊れたおもちゃを修理するボランティアグループです。当院は、『修理できたおもちゃを手にして喜ぶ子どもたちの笑顔が見たい』『ものを大切にする心を伝えたい』『もったいないを広げたい』との思いから、ものづくり大好き人間が集まっています。現在、31歳〜73歳の11人のメンバーがおも

ちゃドクターとして、毎月、第1日曜日(10時〜15時)に箕曲公民館で診療しています。

おもちゃの修理代は無料ですが、修理に伴う部品が必要な場合は部品代として100円〜200円が必要になります。壊れたおもちゃ以外にも付属品や外れた部品やネジ、説明書等を一緒に持ってご来院ください。目の前で大切なおもちゃが直る瞬間の子どもたちの笑顔と一緒にみませんか? また、子どもに『ものを大切にする心』を伝えませんか?

名張おもちゃ病院では、地域のイベント等への往診も行っています。

◆連絡先: 代表 家里 豊喜子
(090-5620-0444)

名張おもちゃ病院のホームページはこちら

⇒ http://www.geocities.jp/nabari_omotya/index



名張市ボランティア連絡協議会

ハート&ハートフェスティバルを開催しました。

11月12日(土)と13日(日)に誰もが気軽に参加できる市民の交流の場(出会いの場)とすることを目的に『ハート&ハートフェスタ 2011』、テーマを『みんな友達』として名張市総合福祉センターふれあいで開催しました。会場では誰もが参加できる体験教室、クッキーやパンなどの販売、コンサートなどにぎやかに行われました。

特に今回は当団体が受託した名張市新しい公委託事業「障害者のための文化教室開催事業」や名張地区まちづくり推進協議会主催の「隠街道市」との共同開催でもあり、お陰様で小さな子どもたちから高齢者・障がい者のみなさん、海外の方などたくさんの方に参加いただくことができました。

「障害者のための文化教室」では、障がい者理解を深めるために、障がい者のみなさん向けの体験教室だけでなく、障がい者みなさんが日頃学んでいる「紙すき」を来場者のみなさんにご指導いただき、大変好評でした。

来年2月26日(日)には、名張市新しい公委託事業「障害者理解を深めるための啓発事業」と共同で『みんな友達』をテーマに誰もが参加できる『ハート&ハートコンサート 2011』を開催いたします。みなさまのご来場をお待ちしています。

会長 石見 彰教



音楽工房

便り♪

「リンゴの唄」



月日のたつのは早いものですね。今年は東北地方の災害に始まり、各地で天災もありました。そして復興支援のニュースが聞かれた激動の一年になりました。みなさんにとっては、どんな一年でしたでしょうか。

木枯らしが吹き始めすっかり寒くなりました。これからがリンゴのおいしい季節ですね。今年最後、そして来年に向けての曲は戦後の復興の中、人々を勇気づけ励ましてくれた『リンゴの唄』です。

『リンゴの唄』は第二次世界大戦後すぐに封切られた映画「そよ風」の主題歌でした。翌年(S21)にレコードが発売されました。並木路子が歌っていたのはよく知られていますが、この曲のヒットを予感していた霧島昇のたつての希望でデュエットソングという形になったそうです。当時サラリーマンの月給が100円台、SPレコードが1円5銭の時代、リンゴは1個5円もする高級な果物だったのです。替え歌で「リンゴ高いや、高いやリンゴ」と歌われたこともあったそうです。

可憐な少女の思いを赤いリンゴに託して歌う歌詞は、今また時を越えて心に届く歌となることでしょうか！

「歌いましょうかリンゴの歌を二人で歌えばなお、楽し、みんなで歌えばなおうれし〜」歌うことの喜び、歌えることの幸せを生きる力に変えてみんなであつなっていけるといいですね。

『みんなでいっしょに唄いませんか』今年も応援ありがとうございます。2012年もどうぞよろしくお願いします。

12・1月の

“みんなでいっしょに唄いませんか”

◆日時：12月16日(金)

10:30~11:30

◆日時：1月23日(月)

10:30~11:30

◆会場：名張市総合福祉センター
ふれあい◆対象：名張市内在住の65歳以上の方
※参加費無料・申込み不要

1月、2月、3月の

介護者サロン“さくら喫茶”

開催日時・場所

- ・ 1月 11日(水) つつしが丘公民館
13:30~15:30
- ・ 2月 9日(木) 桔梗が丘公民館
13:30~15:30
- ・ 3月 9日(金) 総合福祉センター
13:30~15:30 ふれあい

日頃、家族の介護をされている方、ちょっと一息つきませんか！



☆お茶、コーヒーや紅茶、お茶菓子等を用意してお待ちしています。
ご都合のつく時間にお越しください。

参加費：100円

主催：名張市社会福祉協議会
協力：名張市家族介護者の会「楓の会」

手づくりレシピ紹介!“サロン、地域の集まりやご家庭で作ってみませんか!”



抹茶ごまめときんとん茶巾

『作り方』

●抹茶ごまめ

- ①ごまめは電子レンジに2～3分かけ、パリッとさせておく。
- ②鍋に砂糖と水を入れ、火にかけて煮詰めて糸を引くようになれば、抹茶を加え、ごまめをからめ火を止める。
- ③できたごまめを大きなお皿に広げ冷ます。

子どものおやつに!
おせち料理の一品に!
是非作ってみてください。
簡単でとても美味しいですよ。

抹茶ごまめ 材料(6人分)

・ごまめ	70g	
・砂糖	大さじ	1、1/2
・水	大さじ	1、1/2
・抹茶	小さじ	1、1/2

きんとん茶巾 材料(5人分)

・さつまいも	300g	
・A:卵黄	1個分	
・A:みりん	大さじ	1
・A:湯	大さじ	2
・甘納豆	適量	

●きんとん茶巾

- ①さつまいもは輪切りにし、厚めに皮をむく。耐熱皿に並べてラップをかけ、電子レンジ(600W)で4分加熱する。
- ②ボウルに入れ、熱いうちにすりこぎなどでつぶし、Aを加えてよく混ぜ合わせる。
- ③5等分にして1つずつラップに包んで茶巾にし、甘納豆を飾る。

《抹茶ごまめ》のレシピ提供・協力：ききょうなかよし広場(同サロンは、子どもたちが安全に他の子どもと一緒に遊ぶ楽しさを知ったり、保護者が友達や子育てに関するいろいろな機関とつながるきっかけづくりをしています。)

名張のむかしを歩もう!

鍛冶町は昔から歴史のある街です。
現在、小林病院のある所に本陣(殿様が泊まる宿)があり、そののち寺子屋となり現在の名張小学校の始まりとなったのです。
鍛冶町通りには商売繁盛の神様を祭る蛭子神社があり、毎年2月に「えびす祭」を行います。この祭は江戸時代中期から始まり、旧暦の2月7・8日に行っていましたが、昭和20年頃から新暦の2月7・8日にお祭を行うようになりました。毎年祭が来ると町の氏子達が1か月前から準備にかかり、川柳の木に大判小判、鶴亀、福俵、千両箱などの飾りを付けた吉兆を作ります。この祭は、江戸時代に山の物と海の物との物々交換があり、今でもハマグリと植木苗の店が出て、この日は食卓にハマグリが一品として出るほどです。
明治・大正・昭和と町の商売も繁盛で商店には屋号を持った店が沢山ありました。若葉、魚房、清風亭、米徳、矢の五薬局、かんせん、こう屋、矢の伊菓子店、矢の其油店、大清よろず屋などありましたが、現在では商売を営む店も少なくなり寂しくなりました。
鍛冶町の裏にはきれいな名張川があり、米をつく水車があり、北藤旅館では屋形船を浮かし、まるで絵に描いたような河原でした。



※ おきつもを語る会 竹原 功一

協力:おきつもを語る会(同会は、名張の昔について、見聞や体験で得た習慣、行事など座談会を通じて参加者と共に語り合い、資料にまとめ冊子にするなどして、多くの人に名張の歴史や文化を伝える活動を行っているボランティアグループです。)

発行：社会福祉法人 名張市社会福祉協議会

名張市丸之内79番地
名張市総合福祉センターふれあい内
電話番号 63-1111
FAX番号 64-3349
ホームページ <http://www.nabarishakyo.jp>
Emailアドレス info@nabarishakyo.jp

発行部数：1, 150部

《設置場所》

総合福祉センターふれあい、市民情報交流センター、各公民館・市民センター、こども支援センターかがやき、武道交流館いきいき、名張郵便局、錦生簡易郵便局、近大高専、名張市役所、名張市立病院、総合体育館、協力店舗(いいの、吉野豆腐、大為陶器、はなびし庵、矢の五薬局夏見店、山平たばこ店、café*ujuk、booksアルデ、サロンさずな、やなせ宿)、ひまわり書店

※設置協力店舗募集中です!

今回のなばりんくは2月1日発行予定です。